

NEWS RELEASE

報道関係者各位

平成29年2月28日

京阪ホテルズ&リゾート株式会社

コンセプトは「コミュニティのはじまるフレンドリーホーム」

京都タワーホテルアネックス

3月23日(木)全面リニューアルオープン

～ラウンジ・バーを新設、洋館ダイニングをイメージしたレストランも～

京阪ホテルズ&リゾート株式会社（本社：京都市下京区、社長：太刀川克己）は、平成29年3月23日(木)、京都タワーホテルアネックスを全面リニューアルオープンいたします。



京都タワーホテルアネックス外観、ラウンジ・バー、レストラン『レジーナ』イメージ

京都タワーホテルアネックスは、昭和53（1978）年11月に『京都第三タワーホテル』として現在の地に開業して以来、利便性の高さや親しみやすい雰囲気から、ファミリー層や女性グループ、修学旅行生を中心に多くのお客さまをお迎えしてきました。最近では、世界各国からのいわゆる“インバウンド”のお客さまにも多数ご利用いただくなど、京都駅前のホテルとしてご好評をいただいておりますが、さらなるご要望にお応えできるホテルを目指し改装を実施しました。快適で機能性の高い客室と、1階に新設するラウンジ・バーでのリラックススペースのご提供、洋館をイメージしたレストランでの朝食など、既存の京都駅前ホテルとの差別化を図るとともに、世界的な観光都市である京都のさらなる発展に貢献してまいります。

詳細は別紙のとおりです。

(別紙)

1. リニューアルコンセプト

「コミュニティのはじまるフレンドリーホーム」

これまでの京都タワーホテルアネックスにあったフレンドリーでアットホームな雰囲気をしっかりと残しつつ、「スタッフとのつながり、お客さま同士のつながりを感じてほしい」という思いから、今回1階にリビングのように寛げるラウンジ・バーを新設。ホテルでありながら、ゲストハウスのような人と人とのつながり(コミュニティ)が生まれるような空間を提供し、親しまれるホテルを目指します。

2. リニューアルのポイント

(1) フロント・ロビー

竹林から発想を展開した現代的なデザインにすることで、居心地の良さを表現しつつ、ハイセンスな空間を演出します。フロントデスクをアイランド式にすることでお客さまへの対応をよりスムーズにするほか、同フロアにあるラウンジ・バー、レストラン『レジーナ』との仕切りを省くことで、開放感のある印象に生まれ変わります。



フロント・ロビーイメージ

(2) 客室

現行のスペース内で居住空間を最大限に確保するため、設備等をスタイリッシュかつシンプルなものに更新しつつ、従来よりも快適で機能的な空間に一新します。

客室内の備品は最小限にとどめ、1階ロビーにあるアメニティバー・ピローバーより、お好きなアメニティ・枕をお選びいただけるコーナーを新設。全室に、世界中の一流ホテルで採用されているシーリー社製のベッドを導入、羽毛ダウン90%の高品質なデュベとあわせてお使いいただくことで、心地良い睡眠をご提供します。また、全室のユニットバスを一新し、浴槽も従来よりも一回りサイズの大きなものへと変更します。



客室イメージ(左からダブルルーム・ツインルーム・トリプルルーム)

(3) ラウンジ・バー

1階のフロントとの行き来が自由なラウンジ・バーを、レストラン『レジーナ』の一部に新設。リビングのように寛げる空間では、カフェタイムにはソフトドリンクを、バータイムにはカクテルなどをご提供します。

その他、観光情報などのインフォメーション機能を充実させることで、宿泊者共有のリラックススペースとして、また、宿泊者同士のコミュニティスペースとしてもご利用いただけます。



ラウンジ・バー、レストラン『レジーナ』イメージ

(4) レストラン『レジーナ』

店内は、「琳派や神社仏閣、着物といった京都ならではの伝統工芸をちりばめた洋館ダイニング」がコンセプト。

口当たりの優しい味付けのメニューを中心に、内装も料理も楽しめる空間を演出します。朝食では、季節によって風味の異なる「自家製ブレッド」や、野菜を使った料理を充実させるほか、「優しい味わいの和風ポトフ」など、1日の始まりにふさわしいメニューを取り揃えます。また、ランチタイムには日替わり・週替わりなど、ジューシーな肉料理を中心としたカフェ風プレートランチをご用意します。



レストラン『レジーナ』朝食・ランチイメージ

3. 客室数

126室

(ダブルルーム13室、ハリウッドツイン17室、スタンダードツイン37室、トリプル対応ツイン59室)

※トリプル対応ツインとは、修学旅行等が必要な場合に、スタッキングベッド(親子ベッド)を導入し、3名様でのご利用ニーズにお応えするためのツインルームです。

【リニューアルにおける設計・デザイン】

設計は、京阪グループホテルをはじめ、各地のホテルなどの設計を手掛けた株式会社プロジェクトインターナショナルジャパン（PIJ、取締役：比金 政彦）と、DRiP（代表：藤井 崇司）によります。デザイン監修はDRiP(代表：藤井 崇司)が手掛けました。

DRiP（代表：藤井 崇司）は、ホテルを中心に、学校、病院など幅広いプロジェクトに従事。ブランディングを含めプロジェクト全体のポテンシャルを最大限に生かすことでもクライアントの高い評価を受けています。デザインアイデンティティのひとつとして、その土地の文化、芸術性を重視し、地場の伝統工芸や産業とコラボレーションすることを得意とし、国際的なアワードの受賞経験もあります。

<主な受賞歴>

2012 京都デザイン賞入選

2013 Leaf Interior Design Awards/Hospitality
Building of the Year Awards

2015 International Design Awards (USA) 2015 金賞



DRiP 代表 藤井 崇司氏

以 上

【京阪ホテルズ&リゾート株式会社 会社概要】

代 表 者 代表取締役社長 太刀川 克己

資 本 金 3億円

所 在 地 京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町7 2 1 番地の1

設 立 1959年6月1日（※）

事 業 内 容 ホテル、タワー展望、貸室、貸店舗 等

公式サイト <https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/>

※京都タワー株式会社、株式会社琵琶湖ホテル、株式会社京都センチュリーホテルの3社が合併し、平成28年10月1日に発足（上記の設立年月日は、京都タワー株式会社のもの）

<このリリースに関するお問合せ／ご掲載用お問合せ>

京阪ホテルズ&リゾート株式会社 総務人事担当広報課／西田

TEL：075-361-3221 FAX：075-361-2910

Email：nishida-m@keihanhotels-resorts.co.jp

